

# 20世紀前半のヨーロッパ統合

## 中欧からヨーロッパへの道

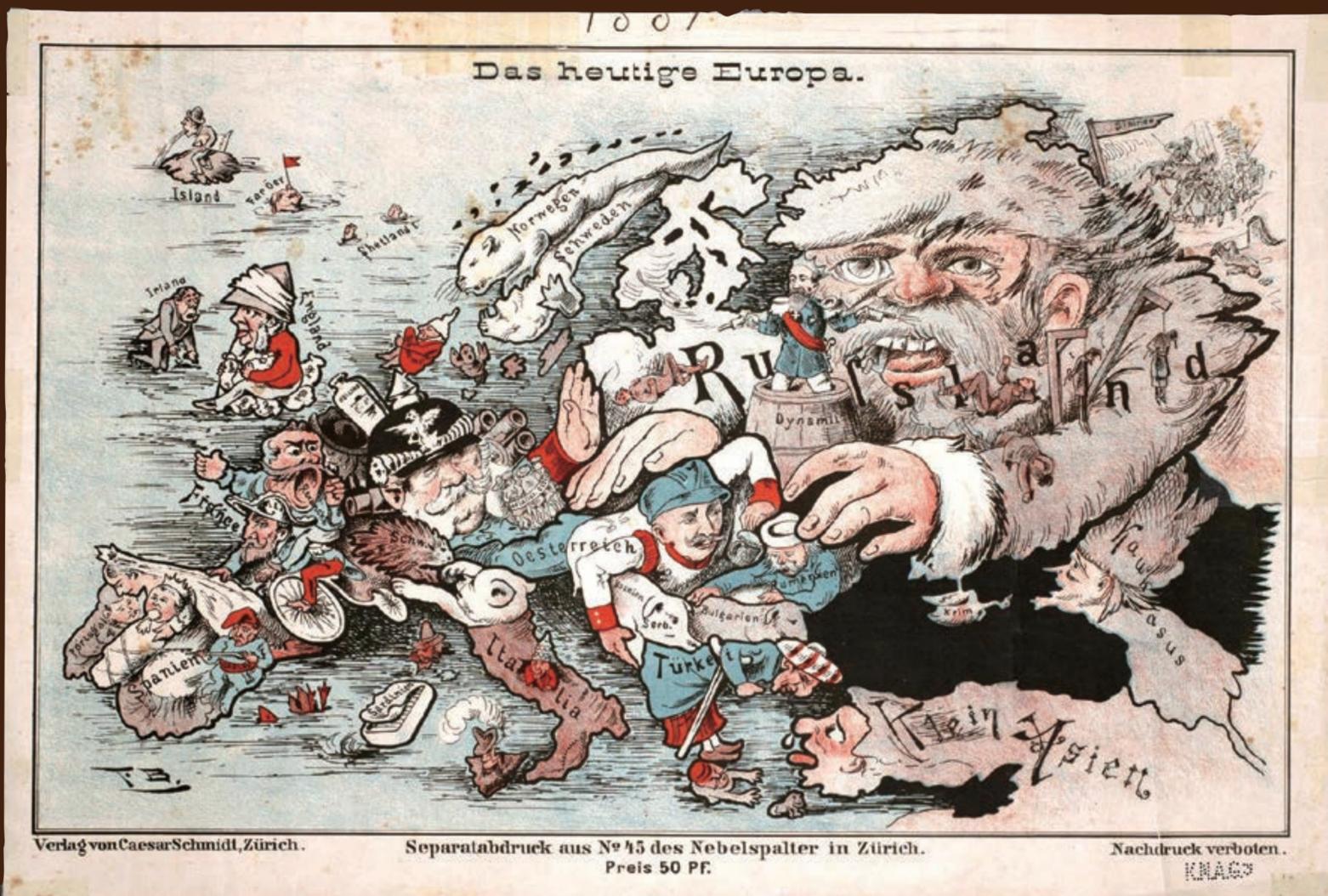
2018.12月1日 15:00~17:00

土樋キャンパス6号館2階 621教室

(どなたでも受講できます)

申込不要

直接会場にお越しください



近年EUはイギリス脱退や移民流入のような重大な問題に直面しており、ヨーロッパは統合の深化か後退かの岐路に立たされているように見えます。ヨーロッパの地域統合の取り組みを改めて歴史的に振り返ってみると、EUの源流である欧州共同体（EC）や欧州石炭鉄鋼共同体（ECSC）より以前に、ヨーロッパ統合の実現に向けて活動する人々がいたことが分かります。ただし、彼らの描いていたヨーロッパ統合とその道程は、後のヨーロッパ統合とは同じではありませんでした。この講演では、二度の世界大戦に揺れた20世紀前半におけるヨーロッパ統合の試みに焦点を当てて、その可能性と問題性を考えたいと思います。

### 講師

#### 第一報告

・「世紀転換期ドイツ・オーストリアにおける「中欧」

柁淵 文夫 (きねふち ふみお) 本学文学部准教授

#### 第二報告

・「ドイツ現代史における「中欧」と「ヨーロッパ」

北村 厚 (きたむら あつし) 神戸学院大学人文学部准教授

主催：東北学院大学ヨーロッパ文化総合研究所  
 協賛：東北学院大学研究ブランディング事業  
 「東北における神学・人文学の研究拠点の整備事業」

問い合わせ先：東北学院大学ヨーロッパ文化総合研究所  
 TEL.022-264-6379 E-mail. europe@mail.tohoku-gakuin.ac.jp

東北学院大学 土樋キャンパス案内図

